

# 安西正育氏に、聴く！

ベビカム株式会社（東京）の代表取締役である、安西正育氏。国内最大級の「妊娠、出産、子育て女性」のコミュニティ「ベビカム」を主宰している。

その切っ掛けとなったのは、同夫妻が三人の子共に恵まれた頃。ご夫人が「妊娠している時って、本当は幸せを思いつきり噛み締められる時なのに、今は、不安の方が多くて、幸せを感じられない人が多いかもしれないよね!？」との言葉に、ハッと気付かされたと言う。

時代的には、同社創立1996年、25年前のことである。同氏は、ママたちの「不安」が、現代社会の核家族化にあり、家族間の「コミュニケーション不足」が「不安」の最大の要因ではないかと位置付けるに至った。

それから試行錯誤を繰り返し、2年後の1998年に「ベビカム」のインターネットサービスを開始。同氏は、残念ながら、都市部においては核家族化解消や昔の良き時代へ後戻りする手立ては皆無に近いと判断し、インターネットによるコミュニケーション増を確信し、妊娠・出産・子育てのママたちの「不安解消」への秘策として、「ベビカム」のインターネットサービスを全国津々浦々へ浸透させて行ったのである。

それから23年が経ち、目を追うごとに、国内におけるインターネットの普及率は加速度を増し、多くのママたちが利用するようになり、環境が好循環にて一変した。同氏は家族思いであり、日々の願いでもある「家族の笑顔を実現する」という活動を継続、現在に至っている。

近年は平穏無事なる世界だったが、2年前に地球規模の大災害をもたらす新型コロナウイルスが日本を襲う。この災害は、外出制限、病院や自治体などの両親学級中止をもたらし、妊娠・出産・子育てのママたちは、生活に対する「不安」など、危機的状況下に置かれてしまった。

よって、同氏はこの未曾有の大災害に対して、更なる秘策を講じ、「家族の笑顔を実現する」のために、コロナ禍と闘うことに。早速、2020年3月から両親学級を50回以上、同年9月からは「ベビカムママティーブレイク」（午後3時から15分間）をウィークデイに毎日開催し、現在まで300回を超え、多くのママたちの心の支えとなっている。

以上、1996年という四半世紀前に、インターネットのコミュニケーション能力を見据えて、妊娠・出産・子育てのママたちへ「笑顔」を与え続けたベビカム戦略。これからも、「家族の笑顔を実現する」の牽引役として、同氏の動きは、更にエキスパンドするに違いない。



CEO Masayasu ANZAI



<https://www.babycome.ne.jp>